

中学生におけるメンタルヘルスに関する研究

—地域間格差の検討—

国際医療福祉大学保健医療学部

藤田 京子 ・ 岸 浩一郎

1. 研究の背景と目的

わが国の青少年の自殺率は先進諸国の中において第1位と突出して多く、思春期の子どものメンタルヘルス対策は喫緊の課題となっている。

2014年の栃木県県北地域中学生のアンケート結果では、西日本の中学生よりストレス反応得点が低いことが確認されたが、栃木県の地域特性の異なる生活圏の中学生においても同様の傾向があるのか、その差を検討することを目的とした。

2. 研究方法

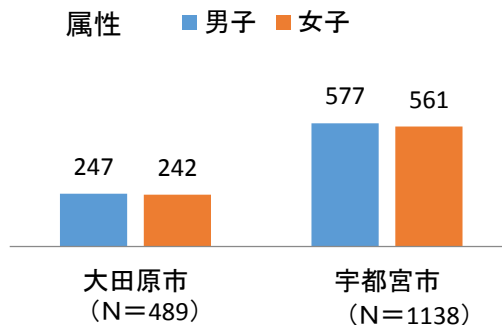
- 1) 対象: 大田原市公立中学校(9校) 2年生 650名
宇都宮市公立中学校(9校)の2年生 1240名
- 2) 調査時期: 平成25年11月～26年12月
- 3) 調査方法: 無記名自記式アンケートを用いた集合調査
質問項目: (1) 生活習慣、(2) 岡安ら(1999)のメンタルヘルスチェックリスト中学生簡易版
- 4) 分析方法:
記述統計量を算出し、平均点の有意差についてはt検定、一元配置分散分析を行った。

5) 倫理的配慮

- 国際医療福祉大学倫理審査委員会の承認を得て行った。(承認番号:13-Io-86)
- 当該教育委員会および学校長に、研究の趣旨と方法について口頭と文書にて説明し、調査協力を依頼し承認を得た。
- 対象者とその保護者に、研究の趣旨と方法、協力は任意であり、回答は無記名としプライバシーの保護に努めること等を書面にて説明した。
- 調査の実施にあたっては、担任の協力を得てホームルーム等ゆとりのある時間に行った。

3. 結果(1)【対象者の概要】

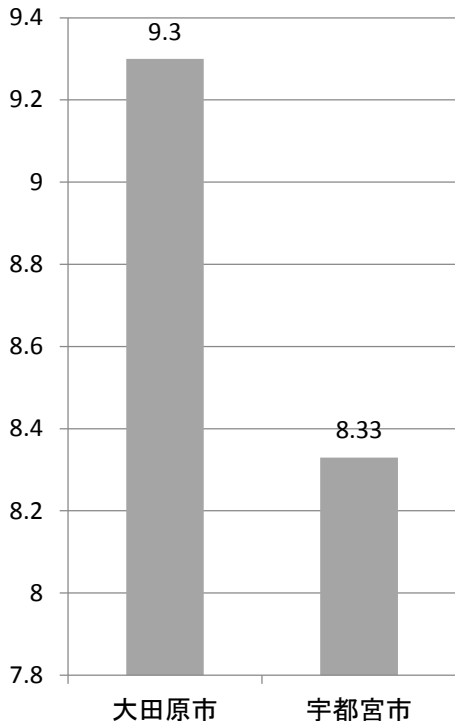
- 大田原市(農村近郊型生活圏)と宇都宮市(都市型生活圏)公立中学校に研究協力を依頼し、18校1807名から回答が得られた(回収率31.9%)
- 尺度に関する欠損のある回答を除外した結果、有効回答数は1627名(有効回答率90%)であった
- 性別比は、男子50.7%、女子49.3%



3. 結果(2) ストレス反応合計得点の比較

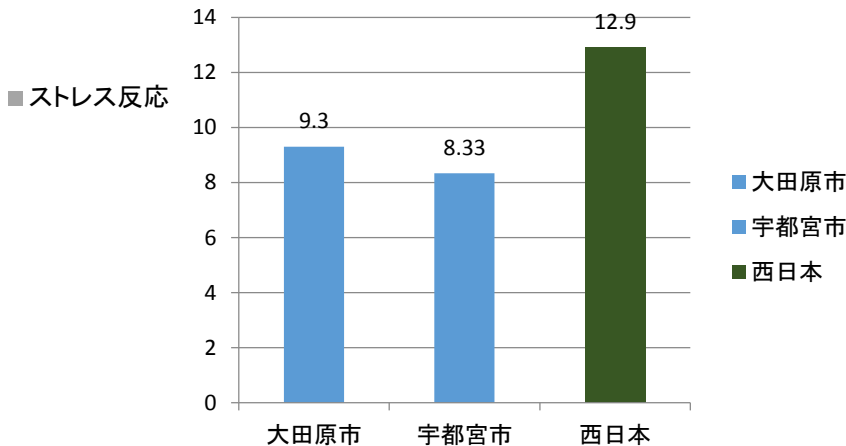
大田原市(農村近郊型生活圏) > 宇都宮市(都市型生活圏) 中学校

ストレス反応合計平均得点

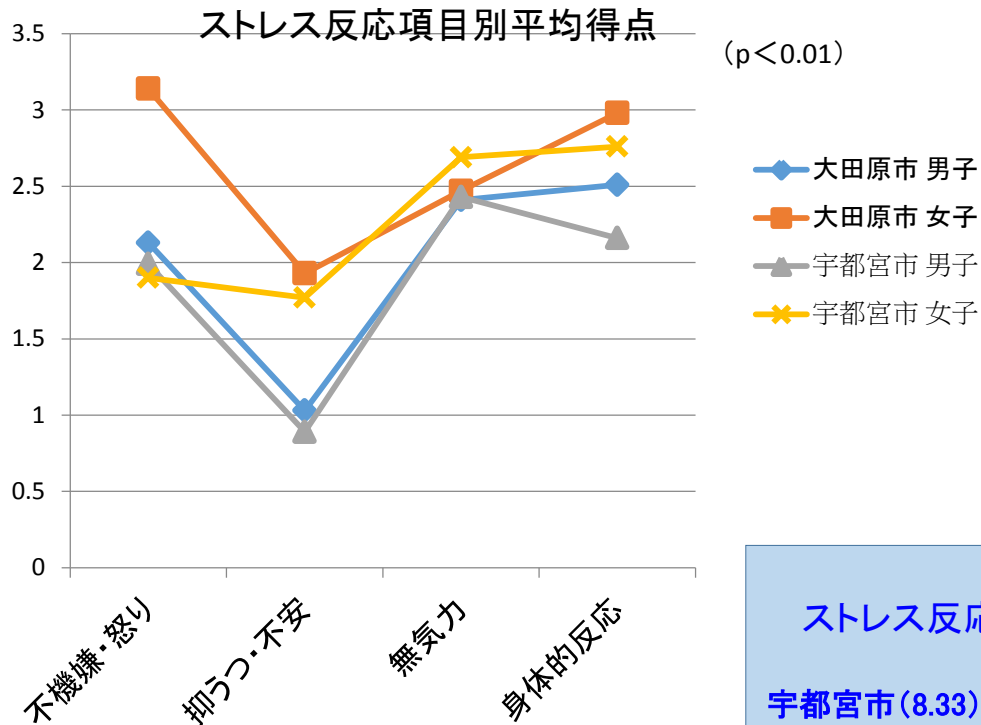


宮崎市や広島県呉市の公立中学校の生徒を調査した岡安(2000)や三浦(2006)、藤田(2015)*の先行研究と比較し、本県の生徒の精神的健康度は高い

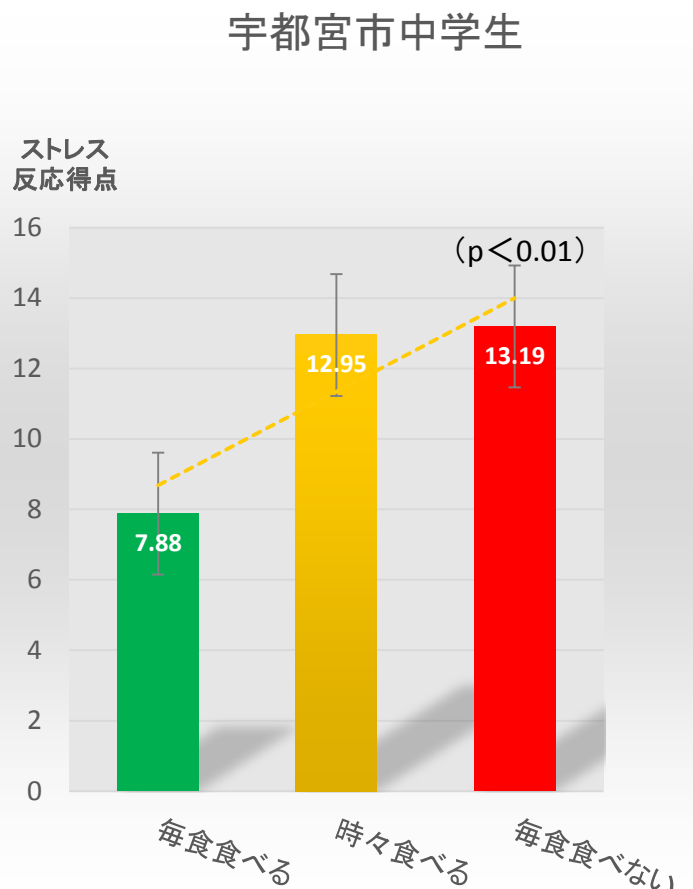
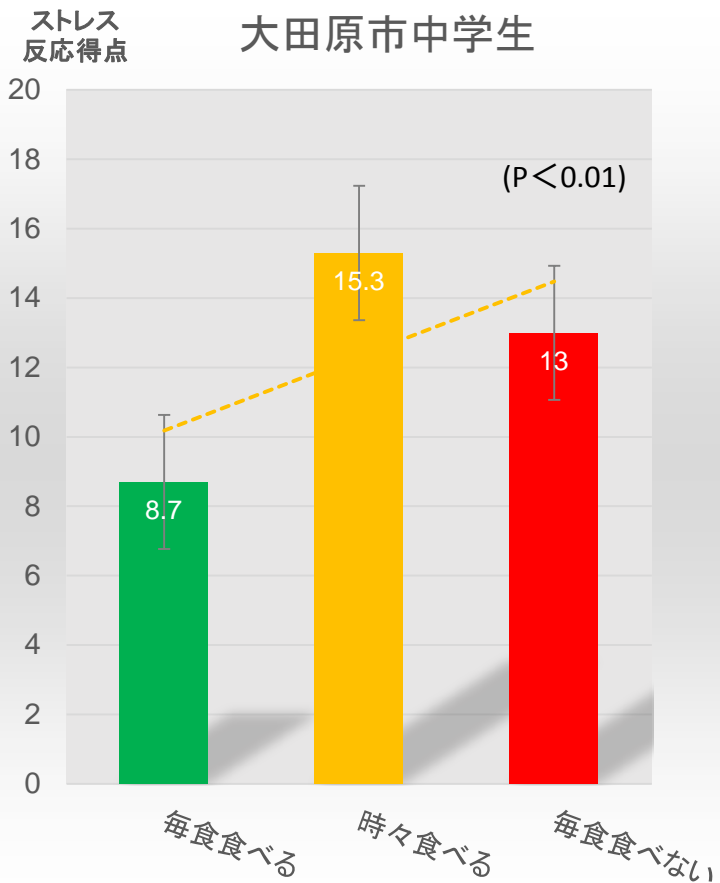
ストレス反応合計平均得点



3. 結果(3) ストレス反応平均得点



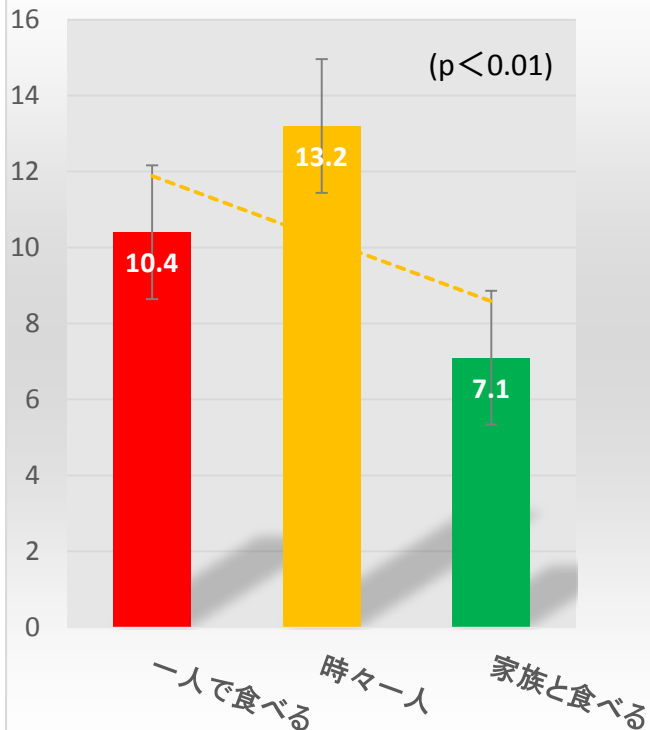
3. 結果(4) 朝食摂取とストレス反応



3. 結果(5) 夕食摂取時の状況とストレス反応

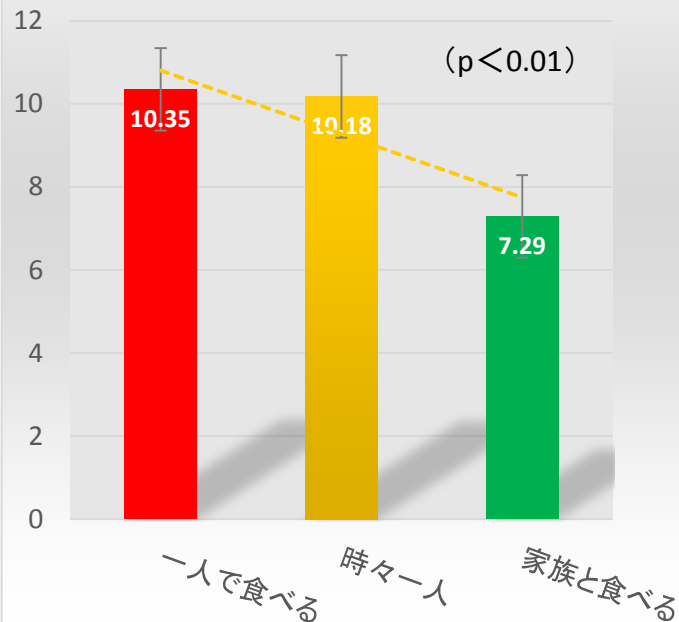
ストレス
反応得点

大田原市中学生



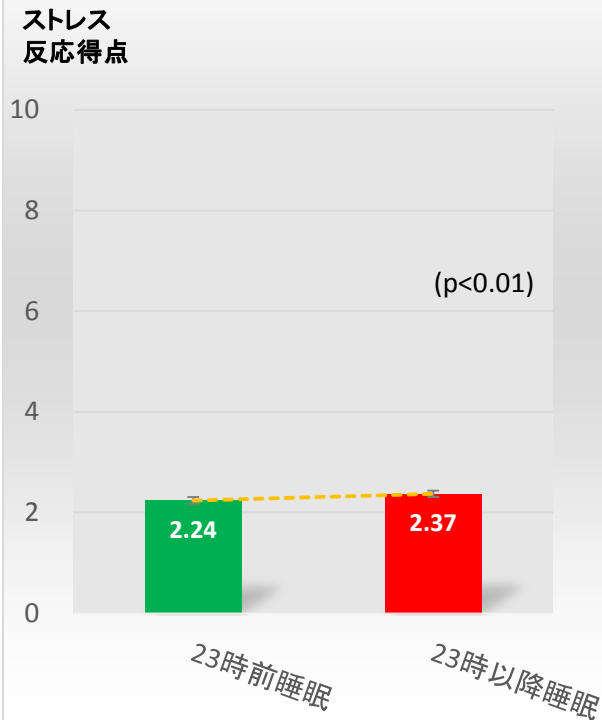
宇都宮市中学生

ストレス
反応得点

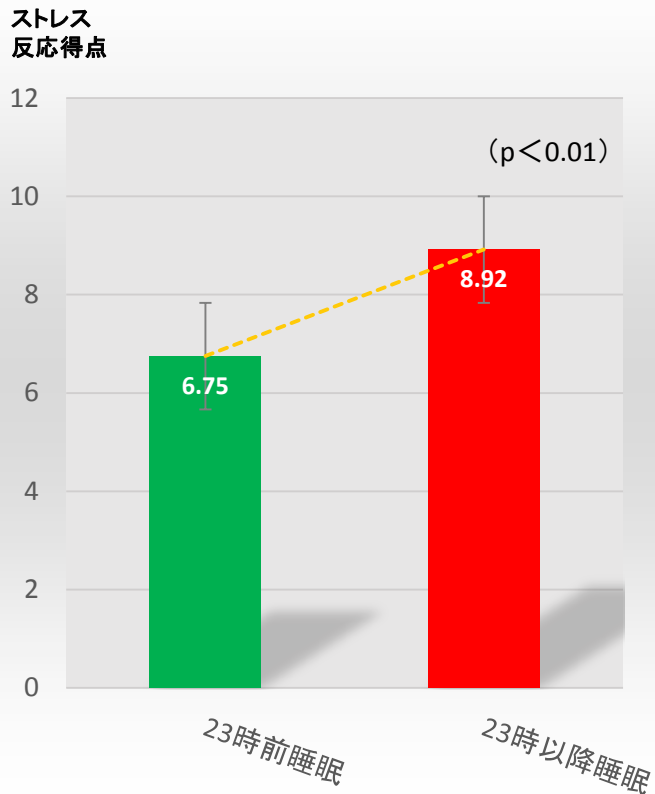


3. 結果(6) 就寝時刻とストレス反応

大田原市中学生



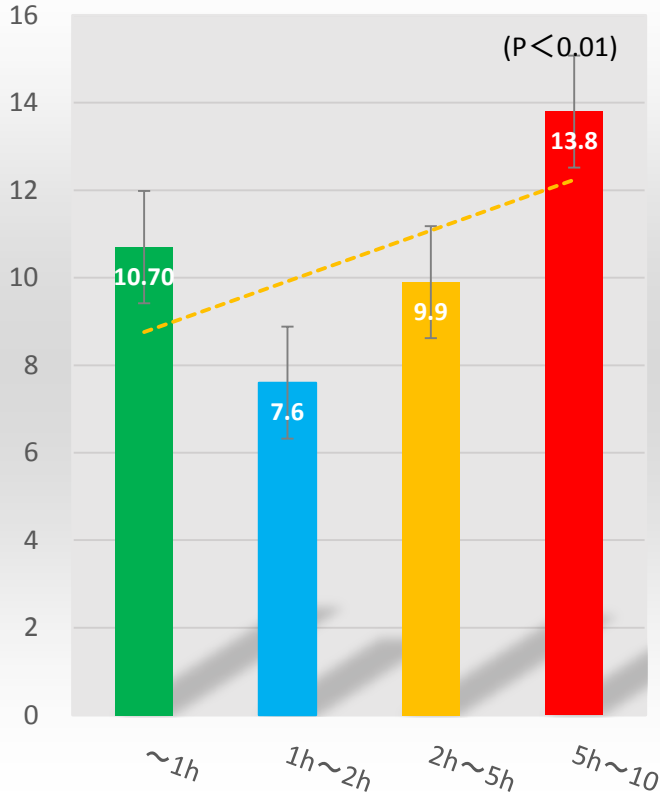
宇都宮市中学生



3. 結果(7) インターネット使用時間とストレス反応

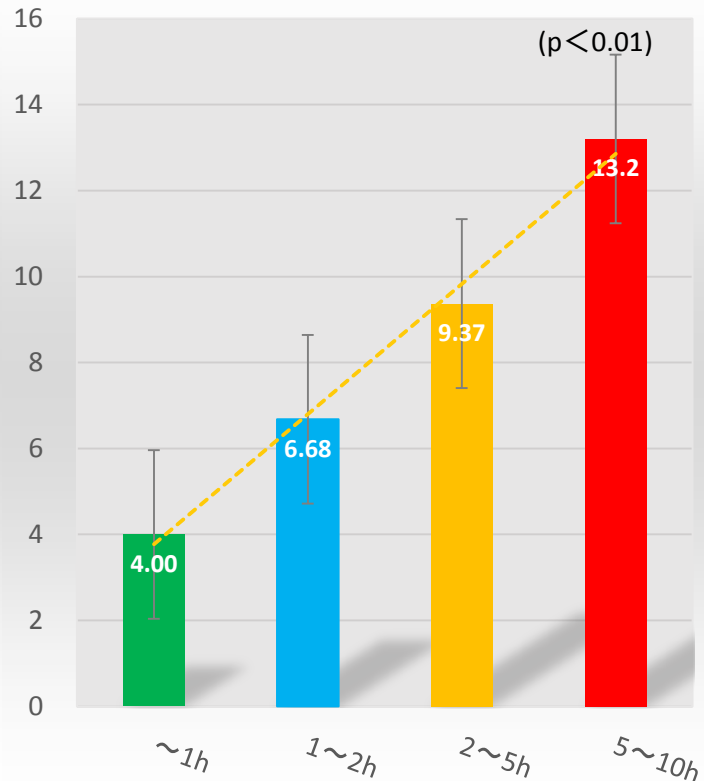
ストレス
反応得点

大田原市中学生

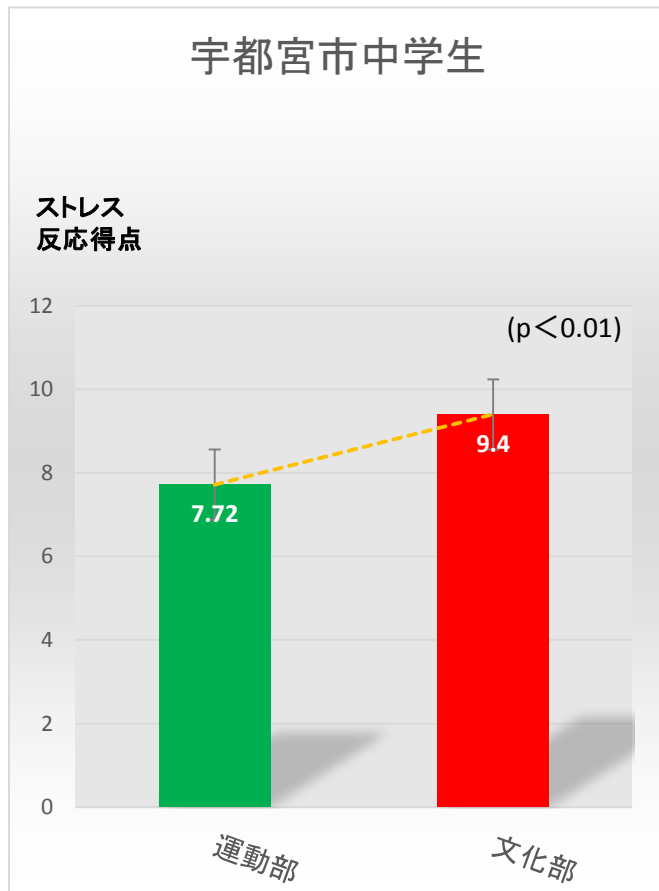
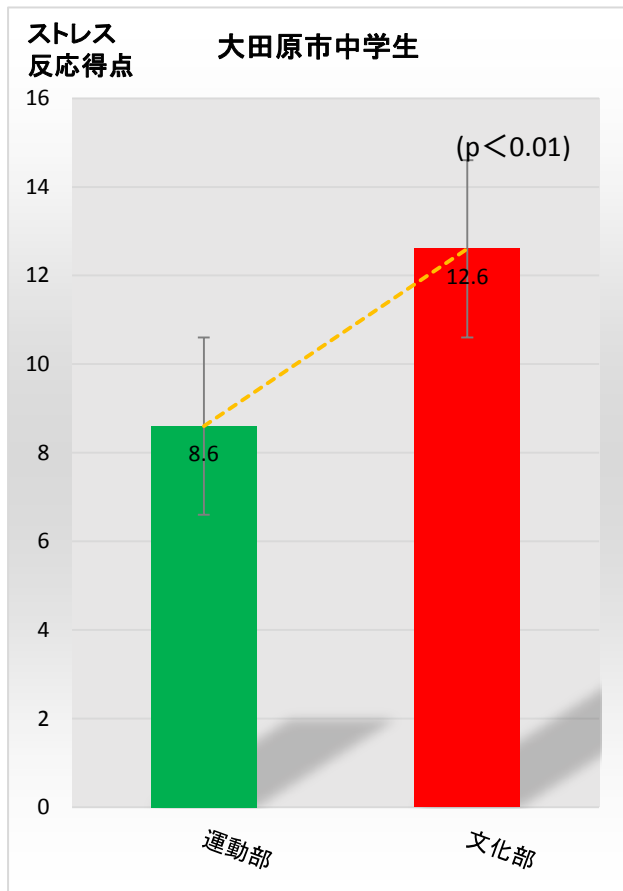


ストレス
反応得点

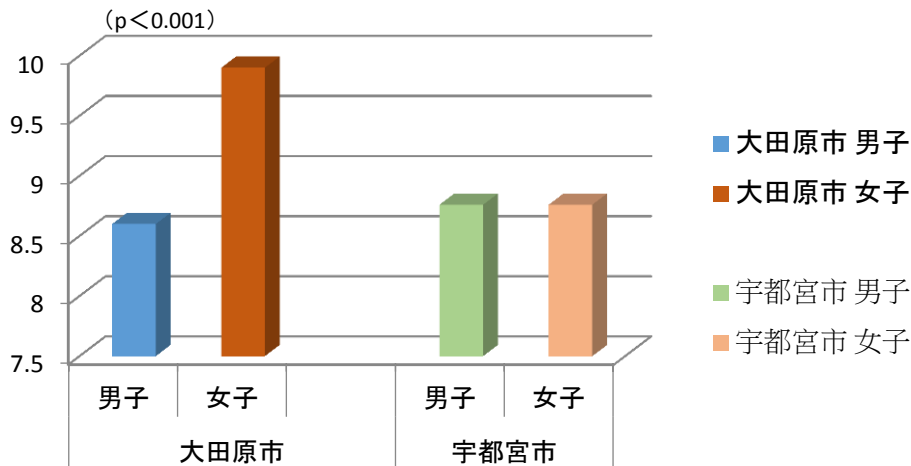
宇都宮市中学生



3. 結果(8) 運動習慣とストレス反応



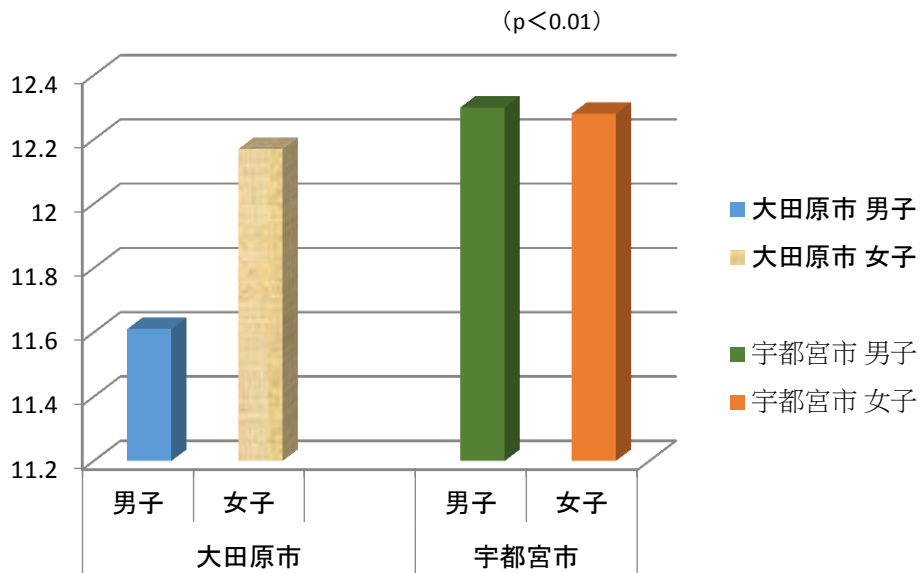
3. 結果(9) 学校ストレス



学校ストレス 合計平均得点

大田原市(9.26) > 宇都宮市(8.76)

3. 結果(10) ソーシャルサポート



ソーシャルサポート 合計平均得点

大田原市 (11.89) < 宇都宮市 (12.29)

4. 考察・結論

- ストレス反応合計平均得点では、都市型生活圏である宇都宮市中学生(8.33)より、農村近郊型生活圏の大田原市中学生(9.30)が高値であった。しかし、これらは西日本の調査結果より低く、地域差はあるものの栃木県中学生の精神的健康度は総じて高いことが示された。
- 不適切な生活習慣(毎日朝食を食べない、夕食を一人で食べる、就寝時間が23時以降、運動習慣がない、インターネット使用時間が2時間以上)の生徒のストレス反応は有意に高いことが共通していた($p < 0.01$)。
- 宇都宮市と大田原市との比較において、前者は学校ストレス(8.76)が低く、ソーシャルサポート(12.29)が高いことが、ストレス反応の低さに影響している可能性が示唆された。

本研究は、平成28年度国際医療福祉大学学内研究助成金によるものである。